

令和8年度 出張講座一覧

番号	講座名	講座の内容	開催時期	対象
1	知っているようで知らない考古学の世界	モノから歴史を考える考古学の世界を紹介します。土器や埴輪といった資料からどのように当時の人々の生活を復元するのかを一緒に体験しながら学ぶ講座です。縄文土器の縄文を製作したり、モノのカチから新旧を考えたりする体験を予定しています。小説や漫画でも出てくる「考古学」とは実際に何をやっているのかをお伝えできればと思います。	7月～9月 11月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
2	鎌倉大仏をもっと知る！（仏像をもっと知る！）	鎌倉大仏のスライドをみながら仏像のかたちについて学ぶ講座です。手や足のかたちに注目し、実際に自分でやってみながら、仏像への理解を深めます。さらに、代表者に仏像が着ている服を実際に着付けて鎌倉大仏になりきってもらいます。鎌倉大仏だけではなく、学校の周囲にのこる仏像についてご紹介します。	12月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
3	中世武士の鎌倉	鎌倉時代の「武士」と聞いて、みなさんはどのようなイメージを抱きますか？。もしかしたら、そのイメージは間違っているかもしれません。武士の常識・非常識について、教科書にも取り上げられないような資料（画像等）を使いながら、わかりやすく解説し、中世武士について理解を深めていきます。	1月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
4	鎧兜の移り変わりから見る歴史	講師が自作の鎧を身に着けながら、日本の鎧兜について解説していきます。中世、平安後期から戦国時代の人々が身につけていた鎧や兜は、実は時代の変化にあわせて大きく様変わりしています。その変化は戦いのやり方や社会のあり方の変化を反映したものでした。人々が身につけるものという観点から、その変化の理由や背景について紹介します。	7月～9月 11月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
5	中世絵画の魅力	室町時代の山水や花鳥の絵に、室町文化のすがたを探ります。何がどのように描かれているのか。誰が描き、どういった人々が鑑賞したのか。ともに考えながら、室町文化への理解を深めます。	7月～9月 11月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
6	鎌倉時代の工芸にみる文化交流	鎌倉時代、中国から日本にもたらされた工芸品は希少で、憧れの高級品でした。建長寺や円覚寺などのお寺で仏具として用いられ、武士の館を飾った、青磁や鎌倉彫などの陶磁器・漆器について、日本と中国で作られた作品の画像を見比べながら紹介します。	7月～9月 11月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
7	江戸時代の浮世絵を学ぶ	海外でもファンが多い江戸時代の美術、浮世絵について、その歴史、木版画の技術、題材、歌麿、北斎、広重など浮世絵師の魅力などをお話します。また、神奈川県内には東海道の宿駅や観光地（金沢八景・江の島・大山・箱根）として親しまれた名所が多く、浮世絵に繰り返し描かれたこともお話できます。	7月～9月 11月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
8	明治時代の浮世絵	浮世絵は江戸時代の美術として有名ですが、明治時代以降も時事に関わる事件・出来事をはじめ様々な内容を取り上げ、人々に最新の話題を提供する役割を担っていました。文明開化の様相を捉えた明治時代の浮世絵を中心に、その歴史や制作方法、作品の内容についてお話します。	7月～9月 11月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
9	旅のよそおいとかながわの名所	江戸時代の人々はなぜ旅に出たのか、どこを旅したのか、どんな風に旅をしたのでしょうか。旅の道具や名所案内記、地図、道中記、紀行文などの資料から江戸時代の旅について紹介します。学校の場所や目的に合わせ、なぜ旅が流行したのかという学校の近くにある宿場、街道、名所を中心にご紹介することもできます。	7月～9月 11月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
10	絵図で見る江戸時代	スライドショーで当館所蔵の日本図・関東図・武蔵国相模国絵図などを見ながら、江戸時代の特徴についてお話します。学校のある地域が描かれた絵図などを見ながら、児童・生徒の身の回りで現在も残っている寺社や江戸時代に作られた石仏なども紹介し、江戸時代から続く地域の歴史について考えます。	7月～9月 11月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
11	日本の開国と異文化交流	ペリー来航、横浜開港など、日本の開国過程ならびに、幕末明治期における異文化交流の諸相について、アクティブラーニング形式で講義を進めます。講義内容（テーマ）については、担当教員と綿密な調整のうえ決定します。授業とこの講座がどのような関係にあるかを含め、希望する具体的な講義内容を記載のうえ申込をお願いします。	7月～8月 11月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
12	石材から学ぶかながわの地質と歴史	各学校が所在する地域で展開された石（石材）と人間との関わりを、その地域の地質的な特徴とも絡めて学習することができるプログラムです。当館学芸員と県立生命の星・地球博物館の学芸員による文理融合の講座となっており、両館学芸員の日程を調整する必要がありますので、開催希望日まで余裕のある日程でお申し込みください。	7月～9月 11月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

令和8年度 出張講座一覧

13	総力戦のなかの人びと	日露戦争、第一次世界大戦、アジア・太平洋戦争など、日本は国の総力を挙げた戦争を何度も経験してきました。戦地に赴いた人びとや国内で戦争に触れた人びとは、何を考えどのように過ごしていたのでしょうか。人々の思いや生活などの様々な視点から、総力戦と人びとのかかわりについて考えます。 ※上記のほか、大戦間期（軍縮期）についても可能です。対象とする時期も含め、ご相談ください。	7月～8月 11月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
14	印刷と私たち	私たちの日常生活で、とても身近な印刷物。その技術の変遷を通じて、人類の発展が印刷によって支えられてきたことを伝えます。具体的には、新しくなった紙幣をネタに、現在から明治へさかのぼりながら、印刷の魅力、写真や版画との関係などについても一緒に考えたいと思います。	7月～9月 11月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
15	かながわの伝統的工芸品	かながわは、古くから木工芸が盛んに行われてきた地域です。県の伝統的工芸品である、箱根寄木細工や鎌倉彫、小田原漆器について、歴史や昔から伝わる技術、その地域に伝統工芸として現在も根付いている理由などを写真や映像を使いながらご紹介します。	7月～9月 11月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
16	身近な地域の現代史	主に1923（大正12）年の関東大震災から現在までを対象に、身近な地域の現代史を考えます。例えば、昭和初期に描かれた神奈川県鳥瞰図（全長約4mのパノラマ絵図）の複製や1964（昭和39）年に開催された東京オリンピックの写真などを通じて、学校周辺の様子を紹介します。	7月～9月 11月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
17	昔の道具を調べよう	私たちにとって身近な「食」を切り口に、「高度経済成長期以前」の日本の台所で使用していた「かまど」や「羽釜」などの道具の変化が人々の生活を変えてきたことをワークシートで学習し、それらを使っていた当時の暮らしの様子をビデオで紹介しします。	3月のみ	小学校・特別支援学校
18	昔の台所と食べ物	当館の民俗展示室に再現された県内の古民家のかまどや台所周辺の道具を中心に紹介します。 また、昔の日常〈ケの日〉の食べ物と正月などの特別な日〈ハレの日〉の食べ物の複製資料などを画像で解説しながら、昔と今の生活の違いについて考えます。	7月～9月 11月～3月	小学校・特別支援学校
19	博物館・学芸員の仕事	県立歴史博物館では職員がさまざまな仕事をしています。資料を探して、調べて、展示して、解説する学芸員以外にも、本の修理や写真撮影、体験学習を企画する職員もいます。博物館や学芸員の仕事を楽しくお話しします。	7月～9月 11月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校